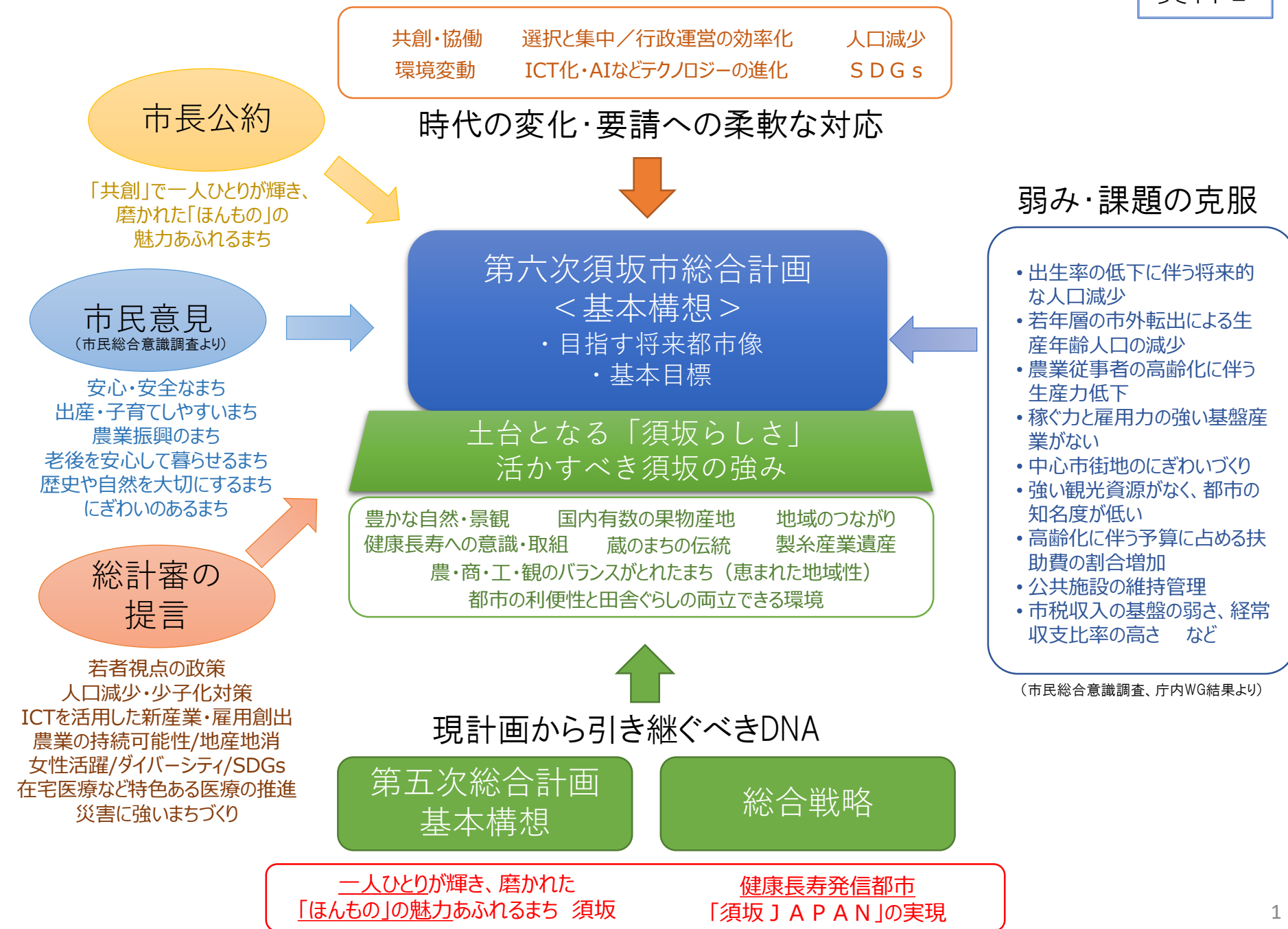




新たなビジョン策定のための筋書き

須坂のこれまで

伝統や自然に恵まれた豊かな暮らしと、中核市である長野市に隣接した便利な暮らしを両立できる都市として発展してきました。

また、地域のつながりが強く保たれ、一人ひとりの健康づくりの意識や活発な地域活動が健康長寿の伝統を支え、アクティブなシニアが活躍しています。

ほんもの 健康長寿 果樹栽培

便利な田舎生活 地域の絆

いまの課題

少子高齢化による人口減少が長野地域全体で進むなか、須坂市の現状（強み・弱み）を的確に捉えつつ、将来の「あるべき姿」からのバックカスティング方式により、今後10年間でとるべき方向性を検討する必要があります。

少子化が進展し、出生率は県内でも低い水準となっているほか、進学・就職をきっかけに市外へ流出する若者が少なくありません。“須坂移住モデル”施策により一定の移住の成果がみられるものの、全国から人を集められる強い産業や観光資源が少なく、市街地の一部は空洞化が進んでいます。

果物王国・須坂として果樹栽培が好調ですが、農業者の高齢化は確実に進みつつあり今後も規模を維持・拡大できるかが課題となっています。

少子高齢化を背景に、税収の伸びが期待できない一方、医療等にかかる社会保障費は増加し続け、須坂市の財政は経常収支比率の高さが示すように硬直化が進んでいます。

限りある行政資源を集中的かつ効率的に投入し、市民の力も借りながら、いかに持続的な行政運営を行っていくかが問われています。

少子化

若者流出

市街地空洞化

担い手不足

財政硬直化

未来の変化とチャンス

時代は世界規模で大きく変化していきます。経済格差や環境問題などの解決に向けてSDGsが掲げられ、世界が一丸となって2030年までに取り組んでいくことが求められています。

国内では、少子高齢化がさらに進み、須坂市も人口の少ない地方都市として、どのようにまちを維持していくかが大命題となりますが、一方で第4次産業革命が進みつつあり、各分野のスマート化により高齢化や人手不足を解決することが期待されます。

予定されているインター周辺開発により新しい人の流れが生まれ、まち全体のにぎわいや産業にどう波及させるかが重要となります。

ICT化の進展により、人々の生活意識や働き方が大きく変わるため、地方暮らしを選択する人が増えると見込まれ、引き続き移住促進への取組が求められます。

少子化が進む一方、子育てや教育分野を取り巻くニーズも多様化・複雑化するなか、子育てしやすい環境や豊かな教育機会があることは、若い世代に選ばれるまちの必要条件といえます。

また子育てしながら女性が活躍できる社会であることも必要不可欠です。

本格的な人生100年時代を迎え、須坂の健康長寿の伝統やノウハウの蓄積は福祉分野だけでなく、ヘルステック（ヘルスケア×テクノロジ）など新産業分野にも応用できる強みといえます。

人口減少社会

インター周辺開発

働き方改革

子育てしやすさ

豊かな教育機会

地方移住

女性活躍

ICT化

SDGs

人生100年時代

◆第六次総合計画＝2030年に向けた**未来づくりの羅針盤**

変動する時代への対応や課題の克服に“**オール須坂**”で**挑戦**する意味を含め、
「**みんなの須坂みらいチャレンジ2030**」(案)を計画の愛称とします。

(表現案)

案1：一人ひとりが切磋琢磨する「しあわせ」づくり都市 須坂

案2：一人ひとりの「しあわせ」づくりのために協創するまち 須坂

案3：一人ひとりが「いきがい」と「しあわせ」を実現できるまち 須坂

案4：みんなで高めあい、つながりあい、活力を生み出すまち 須坂

案5：地域の宝を活かし、新しい未来づくりにチャレンジするまち 須坂

案6：豊かで美しい生活をこのまちでかなえる「しあわせ」実現都市 須坂

案7：「いきがい」が実現でき、豊かな環境で「しあわせ」を協創するまち 須坂

※将来都市像の考え方、盛り込むべき要素の整理は4・5ページ

10年後に目指す姿

厳しい時代のなか、夢や希望のある須坂らしい「しあわせ」をつくる

このまちで、みんなで作る「しあわせ」な未来

しあわせの実現のアプローチとして一人ひとりの「いきがい」づくりがカギ

一人ひとりが「いきがい」を感じることができるくらしの実現

実現に向けて必要なまちづくりの視点

①「しあわせ」「いきがい」につながる3つの須坂の宝を守り、価値を高める

「ほんもの」の誇り

長い年月をかけて守られてきた暮らしの知恵や美しい自然・文化・歴史

「つながり」の安心

孤独にさせない、互いに思いやる“人與人”や地域とのつながり・きずな

「すこやかさ」の活力

健康づくりへの高い意識と市民活動の蓄積、豊かな食と農、都市の利便性と田舎ぐらしの両立

②みんなで知恵を出し合い、切磋琢磨する3者による「協創(Collaboration)」

市民の自立・自律的な活動

効率的な行政経営

市民

行政

民間

最大効率や効果を生み出すための民間との協働

③時代変化に合わせた3つのチャレンジ

進化

ICT化、AIなど新しい技術を取り入れ、くらしや産業を進化させる

継承

地域の歴史・文化や健康長寿の取組の伝統を受け継ぐしくみと人をつくる

学びと行動

一人ひとりが自分事として日々学びあい、地域や周囲の人々のために行動をおこす

しあわせ

- ・須坂で住まうことの満足
- ・地域への愛着
- ・自然に抱かれた静かな暮らし
- ・安定した豊かで快適な生活
- ・健康な毎日
- ・家族や仲間との時間
- ...

いきがい

- ・全ての人に居場所や活躍の場がある
- ・地域での声かけや助け合い
- ・文化的な暮らしを楽しめる
- ・学びの機会がある
- ・高め合い励まし合う仲間
- ・やりがいのある仕事
- ・にぎわいや楽しみのある街
- ...

活力



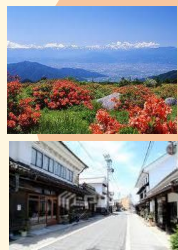
【すこやかさ】

- ・健康づくりへの高い意識
- ・地域における活発な保健活動
- ・豊かで便利な生活環境
- ・IC周辺開発による新たな人の流れ
- ・国内有数の果物産地

誇り

【ほんもの】

- ・自然や景観の美しさ
 - ・蔵のまちなみ
 - ・歴史・文化
 - ・くらしの知恵



安心

【つながり】

- ・人と人の絆
- ・地域とのつながり
- ・顔の見える関係
- ・集まる場がある



基本目標（分野別目標）

